

歴史と伝統の礎 ～創立70周年記念事業を終えて～

長浜市立湖北中学校

校長 伊藤 武夫

長い歴史と伝統を礎に、今年度、本校は創立 70 周年を迎えました。本校は終戦後の学制改革（6.3.3.4 制）により、昭和 22 年 4 月、小谷村・速水村の小学校それぞれに小谷中学校・速水中学校が併置され、朝日村には朝日中学校が独立設置されました。その後、県教委の組合立新制中学校設置方針に伴い、昭和 23 年 4 月 1 日、東浅井郡学校組合立小谷・速水・朝日中学校として発足し、しばらくは各村の各小学校で授業が進められました。そして、昭和 23 年 9 月 13 日、小谷村・速水村・朝日村学校組合立浅井北中学校として設立認可のもとで正式に発足し、この日が創立記念日となりました。また、現在の校章は昭和 23 年 10 月 11 日に公募により決まり、校歌も昭和 24 年 10 月 15 日に公募により制定されました。

なお、現在の湖北中学校という校名は、昭和 30 年 1 月 1 日に小谷村と速水村が合併して湖北町として発足した後、昭和 31 年 9 月 10 日に朝日村と合併し、湖北町立湖北中学校と改称されたことに始まります。そして、昭和 22 年 1 月 1 日に長浜市との合併により、長浜市立湖北中学校と改称されて現在に至ります。

この間、本校は県下でも名の知れた学業・スポーツの優秀両立校であり、また自然の宝庫である土地柄を生かした環境教育では素晴らしい研究成果を収められてきました。また、中学生の海外派遣事業も市内では早くから取り組まれた経緯もあります。過去には生徒指導面も研究推進が図られ、道徳教育では平成 27 年度から 2 年間、抜本的改善・充実に係る支援事業の研究指定を文部科学省・県教育委員会より受け、研究発表大会を開催すると共に、昨年度はその成果を全国教育会長崎大会でも発表しました。なお、平成 10 年には創立 50 周年が開催され、校訓碑が生徒昇降口前に建立されています。

さて過日、創立 70 周年記念事業を開催しましたところ、長浜市長 藤井勇治様、滋賀県副知事 西嶋栄治様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、厳粛かつ温かい記念式典を催すことができました。また、記念講演では地元速水出身の坂井信介氏（滋賀レイクスターズ会長兼 CEO）と陸上女子棒高跳び日本記録保持者の我孫子智美氏（滋賀レイクスターズ所属）のお二人から貴重な体験談を語っていただきました。目標を設定し、その達成に向けて貢献意識や忍耐力、チャレンジ精神を身につけていくことの大切さをご教示いただきました。これからの厳しい世の中を見据えた適切なお話だったように思います。

最後になりますが、世の中は平成の時代から新しい元号の時代へと変わろうとしています。そうした中で、本校は昨年度の卒業式において、卒業生が 1 万人を突破しました。平成 30 年度の記念すべき創立 70 周年を 1 つの節目として、これまで以上に地域との結びつきを深め、長い歴史と伝統を大切にしながら、子どもたちが明るい未来への展望をもてるよう、夢と笑顔のあふれる学校づくりを進めていきたいと考えています。今後も学校と家庭・地域が一体となり、次代を担う若者の育成に尽力していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。